TOKACHI TOYAMA FARM

土の香り

「食卓に笑顔の種を届けたい。」

No.26　2013年

ホームページ
www.toyama-nojo.net

お電話、FAXでのご注文・お問合せ
電話＆FAX：0155-60-2110

編集発行:とやま農場　〒080-2106　北海道帯広市美栄町西6線128番地　　携帯　090-5072-7922

暑中お見舞い申し上げます。

当地は順調に植え付けが進んだものの、就農後初めて経験する干ばつ状態が続いています。それだけに例年以上に　しっかりと根を伸ばして水分を確保し「生きる」事への執着する姿から私たちも学ばなければいけないことが沢山あるように思えます。好条件とは言えませんが、どの作物も活き活きとした表情を見せています。

申し遅れましたが、今年1月より母聖子から経営移譲を受け、晴れて代表に就きました四代目　外山隆祥です。地域の先輩と共に土壌診断による無理・無駄の無い土作り・　肥料設計を実施し、今後益々皆様により良い農産物を提供していけるよう努力していきたいと思います。

健康な土を作れば、作物は勝手に育つ。その手助けになれるように努めていますので、まだまだ不慣れな点などもございますが、応援をどうぞよろしくお願いします。

最後に、産地直送のご案内が遅れたことを、ここにお詫び申し上げます。

2013/07　　四代目代表　外山隆祥(タカヨシ)　２７歳

My味噌造りを開催しました。

2月23・24日：恒例の味噌造り講習会を26名のお客様をお迎えし開催しました。農場産の大豆と小麦(麹に加工）＋米麹と自然海塩を材料に約２８０ｋｇの味噌を仕込み、それぞれが持ち帰りました。「この味噌を食べたら他の味噌は食べられない♪」「お友達に差し上げたら是非一緒に作りたいと～」etc.添加物ゼロのＭｙ味噌造りの輪が広がっています。

昼食には、4男晶浩が中心となって準備した豚汁やサラダなど農場産の野菜や豆類を使ったお料理を囲み楽しく交流しました。

お詫びとお知らせ

＊大変ご好評を頂いておりますスイートコーンですが、今年は諸般の事情により栽培を断念いたしました。『また今年も～』とお待ち頂いております皆様には、大変申し訳ございませんがご了承下さい。

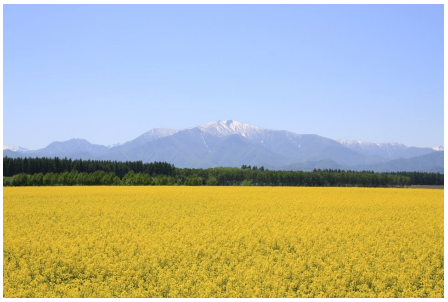
＊これまで価格据え置きで努力してきた産地直送ですが、諸資材などの値上がりにより価格を変更いたしました。皆様には物価高騰の折、大変恐縮ですが、今後ともご愛顧頂きますようよろしくお願いいたします。

尚、お振込口座を変更いたしましたので、ご留意下さい。

＊菜種畑:４．６Ha(東京ドーム1個）の畑に黄色い絨毯が広がりました。車を止め多くの皆さんがシャッターを切り楽しんでいかれました。NHKの番組で“ビデオレター”として紹介して下さった方も。

＊環水平アーク：５月１０日、水平な虹を発見！作業の手を止めしばし不思議な虹に釘付け。。。これは大気中の氷の粒に太陽光線があたり屈折することで、地平線と平行に虹が見えるとのこと。そして鱗雲。これほどの鱗は初めてかも？何を物語っているのでしょう・・・

畑とそら模様



日高の山並みとなたね畑

環水平アーク

鱗雲

☆感謝☆感謝☆

とやま農場の農産物・農産加工品をお取り扱い頂いています。

お陰様で地元十勝を中心に、徐々に「とやま農場」の農産物・農産加工品を取り扱っていただける店舗が増えてきました。
さて、皆様の食卓で笑顔の種となれているでしょうか？
今後も多くの皆様にお召し上がりいただけるよう努めていきたいと思います。

お取り扱い販売店

☆藤丸百貨店(帯広市)
☆帯広競馬場とかちむら産直市場(帯広市)
☆帯広物産協会(帯広駅エスタ東館)　(帯広市)
☆十勝千年の森(清水町)
☆中札内道の駅カントリープラザ(中札内村)

お召し上がりになれる飲食店

☆北の屋台　煙陣(帯広市)

十勝にお越しの際には、是非当農場にもお立ち寄り下さい。

お陰様で、次世代にバトンを渡すことができました。

2004年春。それまで農業、農村の可能性に向かって、当農場の大黒柱として尽力してきた夫勝則の突然の他界から早いもので10年目を迎えました。振り返れば次世代への継手として、ただただ無我夢中で励んできたように思います。結果としての今、未来の原因としての今、どちらの今を生きる？と自問しつつ、『蒔かぬ種は生えぬ』『失敗と書いて経験と読む』と言い聞かせながら。。。
何かと不手際もあり、ご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご厚情に支えられて今日がありますことに心から感謝申し上げます。

お陰様で、今年1月より長男隆祥に夫から託されたバトンを渡すことができました。隆祥共々まだまだ未熟ではありますが、10年後、20年後を見据えての各種農業技術を取り入れ、これまで以上に皆様に喜んで頂ける農産物作りに励んでいます。寄る年波には勝てず、想いと肉体のギャップを感じるようになりましたが、“農業はおもしろくすばらしい仕事”と額に汗して楽しく励んでいます。
「いつもありがとうございます.」そして、「これからもどうぞよろしくお願いいたします」
暑い夏を迎えています。どうぞ、ご自愛下さい。　　外山聖子

ポン菓子機と出来たての大豆ポリポリ

北海道
十勝とやま農場

SINCE 1917

日々の農作業や
農村風景を発信
とやま農場FBページ
も「いいね！」
をお願いします。

編集後記

2／25-3／1

各地にばらけてしまい、集まることも少なくなった外山四兄弟。四男晶浩も成人して、更に会う機会が減っていくだろうと思い、昨年から計画していた兄弟会を開催。僕は実に7年ぶりの東北。集合場所は母の故郷 宮城県栗原市に近い鳴子温泉郷。兄弟で初めて飲み交わす酒はなんとも言えない格別な味がしました。

翌日は実家の叔父さん、叔母さん、内地婆ちゃん、従姉妹との宴会。次男剛士が美輪明宏さながらの「ヨイトマケの唄」を披露し、会場が笑いの渦に包まれました。最終日は、東日本大震災の被災地・南三陸方面に脚を運びました。二年経過した今も残る自然災害の恐ろしさ。廃墟になった校舎、立ち並ぶ仮設住宅、そんな中でも養殖が再開された海の蒼さはただただきれいでした。自然に恐怖し、それでも自然の変化に魅せられてしまう不思議。

遠い故郷でもあり、弟たちが暮らす東北。一日も早い復興を願ってやみません。さて、次会う時にはメンバーが増えているでしょうか？
お楽しみはこれから。　　隆祥